

学社融合プロジェクト

共に学ぼう地域と学校

地域づくりに関心を持つ人を増やすことは、活動の大きな課題でした。平成22年の地区文化祭に学校が長野大学の先生方の協力により作成したパネル展示がきっかけとなり、校長先生からの地域学習の支援をしてほしいというお話から始まった総合学習『美麻市民科』は、地域づくり事業と活動目的が重なる部分も多く、子どもたちと地域住民が共に学ぶという学社融合につながりました。地域と学校が共に学ぶ活動こそが、美麻小中学校が「コミュニティ・スクール」として存在する礎となっています。

2010年（文化祭）



学習発表は、生徒のまとめた内容を長野大学の先生が地域デザインという観点から協力してくれてレイアウト、印刷をしたものです。中学生の学習成果発表が、美麻地区をPRするパンフレットに变身しました。

2011年（協働授業開始）

美麻中学で昨年より始まっている長野大学の2人の先生の指導による地域学習の授業に、地域づくり会議も連携をすることにになりました。

美麻中学校&地域づくり会議協働授業始まる



協働授業の指針を作成

学校×地域×大学の連携により、地域デザインを中心とした授業の指針を長野大学の禹在勇教授、池田諸苗教授の協力に

共に学ぼう！
地域+学校



禹在勇 教授

禹教授) 一番よかったのは子供たちが自分で人の考えたものに対して現場で実行しようとした努力、これは都会にない美麻だけのものを感じた。



池田諸苗 教授

池田教授) テーマのヒントになるオリエンテーションを開く機会をもち、去年行ったことをプレゼンテーションとして行った方がよい。

文化祭での学習成果発表



先生方は、デザインとプレゼンのフロアで、そうした面でのサポートをいただいたので、すばらしい発表になりました。あわせてオオマチミアサテレビ（インターネットTV）の公開収録企画を実施。MCや撮影なども地域づくり会議のサポートで行いました。

2012年（美麻市民科開始）

『美麻市民科』の授業進行中！

美麻地域に住んでおられる皆様への意識調査アンケートの協力をお願いいたします。500枚のアンケートをいただきました。



地域の特色ある事業

学社融合プロジェクト

共に学ぼう地域と学校



シビエの特産品化にも挑戦



2013年

学習成果のほんの一例

美麻の祭を活性化!!



私達は7月下旬から、神楽・獅子舞の練習を始めました。最初は、1つの音を出すのがやっとで、篠笛を吹く三人の音が全然合いませんでした。千見の松下さん、左右田さん、西條さんに教わって、お獅子と太鼓と篠笛がそろうようになりまして。

十月五日に初めて神様に奉納するものとして千見神明宮で披露しました。とても緊張したけれど気持ちよい演奏ができて良かったです。これからも、より多くの方が美麻のお祭に来てくれるようにがんばりたいです。

(7年 仲原千織)

2014年



「麻野だいまる君」は、9年生が美麻地区をPRしようと、総合学習の時間に企画、製作したキャラクターを美麻地域づくり会議が国の補助事業を活用して着ぐるみ化

しました。初登場となった美麻市には、製作メンバーが集まり、会場に集まった人達に「麻野だいまる君」を紹介しました。

神城断層地震から間もなく1年。地域と学校で一緒に考える。

防災って何だろう



生徒「この地区は、どこに逃げればいいんですか？」
 自治会長「この公民館だね。」
 生徒「この避難所は、土砂災害が来たときに避難したらいいみたいですが、なぜですか？」
 自治会長「土砂崩れが起きる可能性があるからね。」

2015年





大町美麻自転車ロードレース大会



地元住民の理解により実現しています。大会の誘致から10年、今では、全国から大学生を中心に数百人が参加する大会として定着しています。

美麻地区と大町地区にまたがる公道は、以前よりコースとして関係者の注目を集めていましたが、自転車競技団体からの提案を受けて、合併後の地域活性化事業として実行委員会を組織して平成19年から開催されています。新行グラウンドをスタート・ゴールとする1周12.6km、高低差230mの起伏に富んだコースを日中通行規制して行うレースは、交通安全を確保するための数多くのボランティアと、



- H19. 10. 20 全日本ロードレースシリーズ第7戦
参加選手 116人
- H20. 8. 31 第64回大学対抗選手権自転車競技大会
参加選手 184人 完走者 20人
- H21. 8. 22・23 JBCF大町美麻ロードレース大会
8/22 権現山ヒルクライム
8/23 ロードレース
- H22. 6. 6 第26回全日本選手権個人ロードレース
参加選手 150人
- H23. 9. 4 第67回大学対抗選手権自転車競技大会
- H24. 8. 11・12 2012大町美麻ロードレース大会
8/11 権現山ヒルクライム
8/12 ロードレース
- H25. 8. 11 全日本学生ロードレースシリーズ第6戦
- H25. 7. 13 全日本学生ロードレースシリーズ第4戦
参加選手 250人
- H26. 8. 30 第71回大学対抗選手権自転車競技大会
参加選手 188人
- H27. 7. 17 全日本学生ロードレースシリーズ第4戦
参加選手 300人
- H28. 7. 17 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ
第3戦

実行委員会から協力を要請を受けてお手伝いすることになりました。私の担当はレース中の失格者や棄権者の収容と自転車の回収で、厳しいコースのせいから1周目から失格者が続出し予想以上に忙しく、内心「これは、まいった!」と思いました。搬送中助手席に乗った京都の選手は、言い訳だけ今日は体調不良だと悔しがり、千葉からの選手はこのコースはきつくて、ついて行けなくなると練習不足を反省していました。ゴール間近になった頃、「今日おじさんはボランティアか」と尋

ねられ、「そうだ」と答えるとありがとうと礼を言われ、ちょっと嬉しい気分。「次回頑張れ!」と声をかけると、「ありがとうございます」と言って車から降りて行きました。(みあさづくり通信No.10より)



インターネットライブ中継を開始。

